

○年 ○月 ○日

○○森林組合
組合長 ○○様

矢作川流域圏懇談会 山部会 部会長 蔵治光一郎
副部会長 丹羽健司

前略

いつも矢作川流域圏懇談会の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、山部会では、今年度の活動計画において、矢作川流域林業担い手 100 人ヒアリングの結果を踏まえ、林業技術者と市民の協働による「流域の森づくりガイドライン」を策定する作業に着手することを予定しております。このガイドラインは、矢作川流域の森を守っているプロたちが、その仕事の意味や重要性を理解し、誇りをもって作業を行うための指針となり、同時に、矢作川流域の恵みで生きる河川管理者、沿岸漁業者、流域住民が、流域の森を守っているプロたちの作業の公益的な重要性を理解し、彼らをレスペクトし、応援するための指針になることを目指しています。

つきましては、以下の日時および場所で、ガイドライン策定作業に関する打ち合わせを行いますので、ご担当いただける林業技術者の方の派遣について、ご配慮いただきたく、ここにお願ひ申し上げます。

草々

記

日時：2021年 ○月 ○日 ○○：○○より

場所：豊田森林組合 本所 大会議室

連絡先

矢作川流域圏懇談会事務局（補佐） 担当：○○

（住所）

（電話番号）

（メールアドレス）

「矢作川流域の森づくりガイドライン策定会議」企画（たたき台案）

2020/10/20 丹羽

●目的：

矢作川流域の森を守っているプロたち（林業技術者）が、その仕事の意味や重要性を理解し、自信と誇りをもって作業を行えるための指針を策定する。

●構成者：

・現場林業従事経験4年以上の林業技術者ならだれでも参加できる。

以下、矢作川流域圏懇談会山部会が認める者

- ・森林、林業、山村問題関連研究者
- ・森林保全、林政関連行政経験者？
- ・その他、

林業技術者主体の現場主義を貫きたい。

現場の声を積み上げて、現実的かつ合理的な会議を重ねたい。

林業技術者はこの会議に参加することで、研究者等から科学的な森づくりの知見を得、研究者等は現実的な現場の声をきくことができる、「対等平等に話し合えるウィンウィンの場」

●工程

10月下旬：企画書、規約、協力依頼書、呼びかけチラシ案作成

11月中旬：矢作川流域主要森林組合及び関係事業体に協力依頼、課題共有&根回し

12月初旬：準備会発足

1月 旬：

2月 旬：策定会議発足学習交流会

*主として平日午後2～3か月に1回開催。経営幹部の理解を得て参加しやすく配慮。

→ 2022年**月：「矢作川流域の森づくりガイドライン」報告会

●財政

森林環境税など助成事業に申請必要と思われる。筋のいい事業と協働したいが。

Ex（地球環境基金 max 300万円）

受付期間：2020年11月5日（木）正午～2020年12月2日（水）13：00 必着

●建設的な提案や議論を期待します。